Geo spatial G空間EXPO 2025
地理空間情報科学で未来をつくる

G空間EXPO2025開催報告書

Exhibition Report

令和7年4月

G空間EXPO運営協議会

日刊工業新聞社

目次 Index

開催概要 ・・・ 1
統一テーマ等 ・・・ 2
合同開会式 ・・・ 3
ステージプログラム（講演等） ・・・ 4
企画事業（コンテスト等） ・・・ 8
出展者一覧 ・・・ 10
展示内容概要 ・・・ 11
出展者セミナー ・・・ 12
プレス来場一覧 ・・・ 13
主な広報宣伝活動 ・・・ 14
制作物/掲載記事（一部抜粋） ・・・ 15
来場者アンケート ・・・ 17
［参考］開催実績等 ・・・ 25

開催概要等

開催概要

開催概要

■名称:　G空間EXPO2025　Geospatial EXPO2025 Japan

■会 期:　【リアル】　2025年1月29日(水)～31日(金) 10:00～17:00
【オンライン】2025年1月22日(水)～2月7日(金)
※国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展と同時開催

■会 場:　【リアル】東京ビッグサイト 南4ホール・南2ホール・会議棟

■対象　児童・生徒から社会人まで幅広い層/入場料無料（登録制）

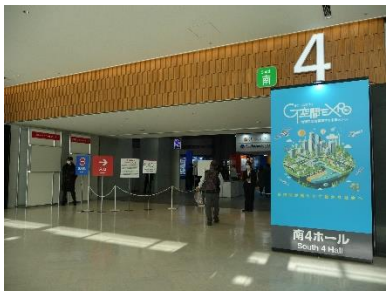
■主催　G空間EXPO運営協議会
構成員：(公社)日本測量協会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本測量機器工業会、(公社)日本測量調査技術協会、(一財)宇宙システム開発利用推進機構、(一財)日本情報経済社会推進協会、(一社)地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、国土交通省政策統括官付、国土交通省国土地理院、(国研)宇宙航空研究開発機構

■共催　日刊工業新聞社

■来場者数:26,338名（リアル）
47,997名（オンライン）

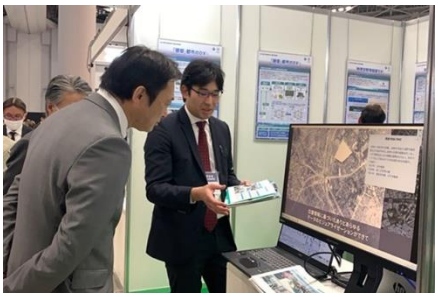
■出展者数/小間数：41社・団体/73小間

総合受付



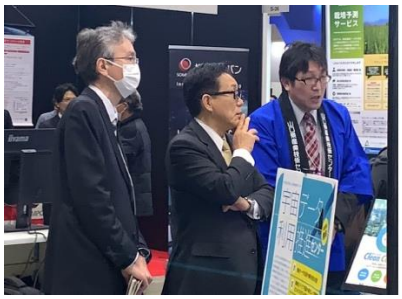
G空間EXPO会場

展示ブースの様子



国土交通省吉井大臣政務官ご視察の様子

新藤 義孝　衆議院議員ご挨拶の様子
（イチBizアワード表彰式）



江島 潔議員ご視察の様子

統一テーマ等

■統一テーマ

「地理空間情報科学で未来をつくる」

G空間EXPO開催の根幹的な意義を示す標語。2013(平成25)年度より掲揚。

■年次テーマ

「G空間が織りなす豊かな社会へ 」

統一テーマを踏まえつつ社会の流れや移り変わりに沿う時宜的な標語。

■タイトルロゴ

Geo spatial G空間EXPO 2025

地理空間情報科学で未来をつくる

■キービジュアル

合同開会式

※団体名は順不同

■日時:　1月29日(水)9:40～10:00

■会場：　東京ビッグサイト　南3ホール内国際宇宙カンファレンス会場

■登壇者:

来賓	国土交通省　総合政策局長	塩見　英之　氏
来賓	経済産業省　大臣官房審議官(製造産業局担当)	浦田　秀行　氏
共催	日本防災産業会議　　会長	相澤　益男　氏
共催	グリーンインフラ官民連携プラットフォーム　会長	西澤　敬二　氏
主催	内閣府　宇宙開発戦略推進事務局長	風木　淳　氏
主催	内閣官房　地理空間情報活用推進室長	小善　真司　氏
主催	国土交通省国土地理院　院長	山本　悟司　氏
主催	一般社団法人地理情報システム学会　会長	山本　佳世子　氏
主催	公益社団法人日本測量協会　会長	清水　英範　氏
主催	日刊工業新聞社　代表取締役社長	井水　治博　氏

内閣府　宇宙開発
戦略推進事務局長
風木　淳　氏

内閣官房
地理空間情報活用
推進室　室長
小善　真司　氏

国土交通省
国土地理院　院長
山本　悟司　氏

一般社団法人地理
情報システム学会
会長
山本　佳世子　氏

公益社団法人
日本測量協会
会長
清水　英範　氏

ステージプログラム(南2ホール内：講演等)

旅が10倍楽しくなる！ "地図ブラ"の魅力～NHK「ブラタモリ」番組作りの現場から～

全国各地の知られざる歴史や地理を掘り下げ、街の魅力や人々の暮らしを伝えるNHK「ブラタモリ」。その番組作りの裏側で、どのように地理空間情報が活用されているのか？旅ロケ番組の制作者の視点から、地図を片手にブラブラと旅したくなる“地図ブラ”の魅力の講演をしました。

■日時: 1月30日(木)10:30～11:10

■登壇者： NHK「ブラタモリ」プロデューサー
吉田　光志 氏

国交省・「建築・都市のDX」の現在地と将来像

「建築・都市のDX」は、国土交通省の建築BIM、PLATEAU、不動産ID、地理空間情報に関する取組を一体的に推進し、屋内外シームレスな高精細な3Dデジタルツインの構築や不動産・都市分野の多様なデータの連携・分析を促進する取組です。各局の政策立案に携わる実務担当者が、その現状と将来像を紹介しました。

■日時: 1月30日(木)11:30～12:30

■登壇者: ①「建築・都市のDX」について、高精細なデジタルツインのユースケース
国土交通省 政策統括官付地理空間情報課地理空間情報活用推進官　米倉　大悟 氏
②BIMの概要説明
国土交通省 住宅局参事官付建築デジタル推進官　藤原 健二 氏
③PLATEAUの概要説明
国土交通省 都市局国際・デジタル政策課企画専門官　十川 優香 氏
④不動産IDの概要説明
国土交通省 不動産・建設経済局不動産市場整備課課長補佐　片田 一真 氏

米倉 大悟 氏

藤原 健二 氏

十川 優香 氏

片田 一真 氏

講演会の会場の様子

ステージの様子

ステージプログラム(南2ホール内：講演等)

PLATEAUが展望する都市デジタルツインの今後

“PLATEAU”（プラトー）は、国土交通省が様々なプレイヤーと連携しながら、日本全国で「3D都市モデル」と呼ばれる都市空間のデジタルツインデータの整備・活用・オープンデータ化を進めるプロジェクトです。これまで200以上の都市でデータが整備され、多様な領域でユースケースを展開しています。「”PLATEAU”が見据える都市デジタルツインの今後」をテーマに、有識者による海外事例の紹介を含む講演とパネルディスカッションを行いました。

■日時:　1月30日(木)15:00～17:00

■登壇者:　【講演者】
シンガポール国立大学 Assistant Professor　フィリップ・ビリエツキ 氏
国土交通省 都市局国際・デジタル政策課 企画専門官　十川　優香 氏
【パネリスト】
国際航業 地理空間基盤技術部部長　小田　三千夫 氏
ユーカリヤ CEO　田村　賢哉氏
アジア航測 行政支援サービス部 兼まちづくりデザイン部技術部長　中嶋　幸宏 氏
NTTインフラネット スマートインフラ推進本部インフラDX推進担当　千葉　繁 氏
【モデレーター】
アジア航測　黒川　史子 氏

フィリップ・ビリエツキ 氏

十川 優香 氏

ステージの様子

ステージプログラム(南2ホール内：講演等)

「みちびき講演会～７機の実現、その先の11機へ～」

みちびきの利活用の最新動向と、実際にみちびきを活用している各事業者に登場いただき事例をご紹介いただくとともに、近々現在の4機から7機体制へ移行するみちびきの発展を含めた衛星測位の将来像についての講演を行いました。

■日時:　1月29日(水)12:30～14:10

■主催：　内閣府宇宙開発戦略推進事務局／準天頂衛星システムサービス（株）／関連事業者

■登壇者：　【開会挨拶】 宇宙開発戦略推進事務局　準天頂衛星システム戦略室長　三上　建治　氏

【講演①】 みちびき11機体制に向けたJAXAの取り組み
国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構　第一宇宙技術部門 衛星測位技術統括　小暮　聡　氏

【講演②】 CLASを活用した堤防除草の生産性向上への取り組み
国土交通省　北海道開発局 事業振興部 機械課 上席専門官　石道　国弘　氏

【講演③】 AI CAPTAINとみちびきが描く船舶自律航行の未来
株式会社エイトノット　代表取締役　木村　裕人　氏

【講演④】 新たな衛星測位システム「LEO PNT」の可能性
株式会社アークエッジ・スペース　執行役員／経営企画室長／ソリューション事業部長　保田　友晶　氏

【閉会挨拶】 準天頂衛星システムサービス株式会社　代表取締役社長　石橋　海　氏

三上　建治　氏

小暮　聡　氏

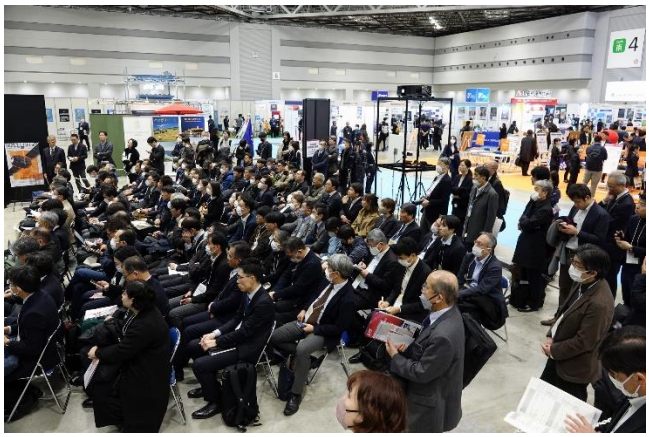
石道　国弘　氏

木村　裕人　氏

保田　友晶　氏

石橋　海　氏

みちびき6号機打上げを控えたJAXA種子島宇宙センターから
オンライン中継で開会の挨拶をする　三上室長


講演会の会場の様子

ステージプログラム(南2ホール内：表彰)

「イチBizアワード2024」表彰式

「イチBizアワード」は、地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテストです。今年度は新しい可能性を求めるアイデア部門、ビジネスチャンス拡大を目的としたビジネス部門、自治体の課題解決を目指す地域部門の3部門を設定、各部門の優秀なアイデアを発表・表彰を行いました。

■日時: 1月31日(金)12:50～14:20

■主催： 内閣官房

■開会挨拶： 内閣官房 小善　真司 氏

■来賓挨拶： 衆議院議員 新藤　義孝 氏

新藤義孝議員と受賞者

第1回 国土交通省 地理空間データチャレンジ～国土数値情報編～表彰式

国土交通省では、国土数値情報を始めとした、地理空間情報のオープンデータによるイノベーションの創出に取り組んでいます。この度、データサイエンティストを対象とした、国土交通省初のデータ分析コンペティションを開催。国土数値情報等のデータを活用し、不動産の賃料推定モデルの精度を競うモデリング部門と、不動産市場の物件価値を高めるためのアイデア提案を競うアイデア部門の優秀者表彰式を行いました。

■日時: 1月31日(金)14:30～15:00

■主催： 国土交通省 地理空間情報課

■開会挨拶/表彰： 国土交通大臣政務官　吉井 章 氏

表彰式の様子

企画事業（会議棟・南4ホール内：コンテスト等）

Geoアクティビティコンテスト

次世代のG空間社会を担う人材の育成や、地理空間情報の活用推進を目的とし、G空間情報を活用した独創的なアイデア、新たなサービス等を一般から広く募集し、優良事例を表彰するイベントです。当日は、選考を勝ち抜いた出展者からの発表と表彰式が行われました。G空間EXPO2025会場内に、出展者から説明を受けることができる展示ブースを常設、来場者の投票で決まる来場者賞も設けました。

		作品名	出展者名
地域貢献賞	A	急傾斜果樹園におけるスマート農業と被災農地支援　～地理空間情報を活用して描く『未来の農業』～	愛媛大学附属高等学校　坂田 彩夏　多田 伊花 高須賀 柚奈 愛媛大学大学院農学研究科　池見 孔志
	B	日本の死角をなくそう👀　～ライブカメラオープンデータ整備PJ～	共愛学園前橋国際大学 渡辺研究室　小林愛弓、 家入萌々花、渡辺晃輔
	C	新しい復興支援のカタチ　～災害伝承検定～	一般社団法人 災害伝承普及協会
	D	観光案内アプリ「SHSvisitジャパン」	宮崎県立佐土原高校　情報技術部・産業デザイン科
最優秀賞	E	ダイバーシティー実現バリアフリールート共有アプリ「DiversMap 2」	Divers Project
防災減災賞	F	斜面の健康診断　―AI×G空間情報で可視化する土砂災害リスク―	立正大学大学院　地球環境科学研究科　田中　優也
	G	ハザード情報アウトラインAPI・ウェブアプリ ～このへん、あのへんのハザード情報がすぐに簡単に！～	東海大学情報理工学部情報メディア学科　宇津　圭祐
	H	防災ゲーム「釜石の奇跡」	松村 正一
地理教育賞	I	地理院地図（電子国土Web）を利用した各時代の海岸線推定と歴史を再検討　ー 美濃国不破郷の歴史 ー	関ケ原町歴史民俗学習館サポータ『不破ふわ塾』 （ボランティア団体）代表　木村 寛之
	J	地理空間情報を活用した肥料起源マイクロプラスチックの調査ver2	伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム
	K	各種地形図・地理空間情報の統合閲覧サイト「全国Q地図」	全国Q地図管理者
	L	ジオ生成AI革命 -誰でもGISで地域分析-	福井県立大学ジオアーカイ部
来場者賞	M	防災カードゲーム「私が来たからもう大丈夫！」	宮崎県立門川高等学校　地域防災班
奨励賞	N	オープンデータを用いた都市街路樹の抽出に関する研究	明石工業高等専門学校　都市システム工学科 環境工学研究室　廣田　敦志・渡部　守義
オープンデータ活用賞	O	今ここ何番地？	土地家屋調査士　白土洋介

審査委員

	氏 名	役　　職
委員長	関根　智子	日本大学文理学部地理学科教授
委員	石川　初	慶應義塾大学環境情報学部教授
委員	片岡　義明	フリーランスライター
委員	坂下　哲也	一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
委員	山本　佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授
委員	伊藤　香織	東京理科大学創域理工学部建築学科教授
委員	小泉　和久	浦安市職員（一般社団法人地理情報システム学会　自治体分科会会長）
委員	三橋　浩志	文部科学省初等中等教育局教科書調査官

セミナー 「新たな標高基準と３次元地図への期待」

地理空間情報活用推進基本法における二本柱である衛星測位とGIS。その活用の基盤を整備する国土地理院は、高精度な標高データをどこでもすぐに利用できるよう、衛星測位を基盤とする新たな標高体系を整備するとともに、ベース・レジストリ（公的基礎情報データベース）である電子国土基本図の3次元化に取り組んでいます。国土地理院から最新状況を報告し、さらに高度なG空間社会への期待について有識者からお話しいただきました。

■日　時:　1月30日(木)13:30～15:10

■主　催：　国土交通省国土地理院

■開会挨拶：　国土地理院参事官　　河瀬 和重

■講演者：　国土地理院 測地部 測地技術調整官
古屋 智秋

公益財団法人日本測量調査技術協会
技術委員会 位置情報・応用計測部会長
横井 伸之

国土地理院 基本図情報部 国土基本情報課 課長補佐
石塚 麻奈

東京大学 空間情報科学研究センター 助教
飯塚 浩太郎

イチBizアワード ネットワーキングミーティング

「イチBizアワード」のステージでは、地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテストとして、今年度は新しい可能性を求めるアイデア部門、ビジネスチャンス拡大を目的としたビジネス部門、自治体の課題解決を目指す地域部門の3部門を設定、各部門の優秀なアイデアを発表・表彰いたしました。アワード受賞者の交流の場として、ネットワーキングミーティングを行いました。

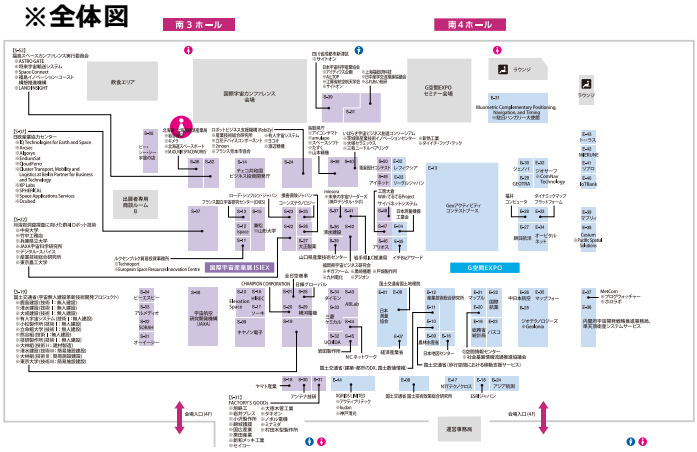
出展者一覧

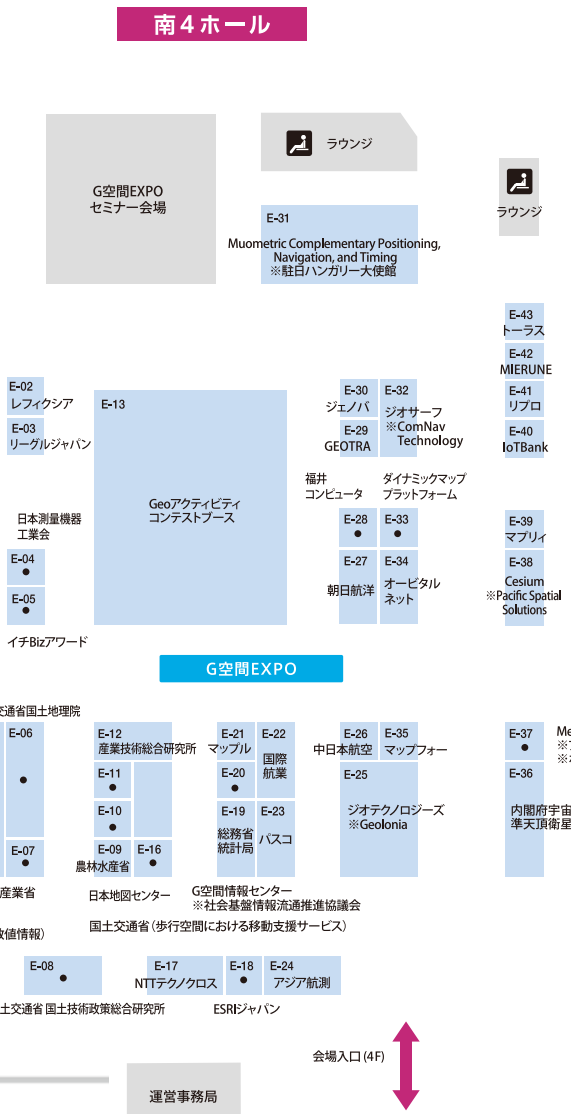
【50音順・法人格略(一部除く)】※は共同出展者

G空間EXPO 2025

E-40	IoTBank
E-27	朝日航洋
E-24	アジア航測
E-05	イチ Biz アワード
E-44	XGRIDS LIMITED ※アクティブリテック ※kudan ※神戸清光
E-18	ESRI ジャパン
E-17	NTT テクノクロス
E-34	オービタルネット
E-07	経済産業省
E-22	国際航業
E-11	国土交通省（建築・都市の DX、国土数値情報）
E-08	国土交通省国土技術政策総合研究所
E-06	国土交通省国土地理院
E-10	国土交通省（歩行空間における移動支援サービス）
E-12	産業技術総合研究所
E-20	G空間情報センター ※社会基盤情報流通推進協議会
E-30	ジェノバ
E-13	Geo アクティビティコンテストブース
E-32	ジオサーフ ※ComNav Technology
E-25	ジオテクノロジーズ ※Geolonia
E-29	GEOTRA
E-43	トーラス
E-28	中日本航空
E-21	マップル
E-39	マプリィ
E-35	マップフォー
E-09	農林水産省
E-23	パスコ
E-28	福井コンピュータ
E-33	ダイナミックマッププラットフォーム
E-19	総務省統計局
E-16	内閣府宇宙開発戦略推進事務局、準天頂衛星システムサービス
E-01	日本測量協会
E-16	日本地図センター
E-03	リーグルジャパン
E-41	リプロ
E-37	MetCom ※ブログウォッチャー ※ホロラボ
E-31	Muometric Complementary Positioning, Navigation, and Timing ※駐日ハンガリー大使館
E-42	MIERUNE
E-04	日本測量機器工業会
E-36	内閣府宇宙開発戦略推進事務局、準天頂衛星システムサービス
E-02	レフィクシア
E-27	朝日航洋
E-38	Cesium ※Pacific Spatial Solutions

※全体図





展示内容概要

【50音順･法人格略(一部除く)】※は共同出展者

小間番号	出展者名	展示内容
E-40	IoTBank	IoTデバイス、チラシ、ポスター、モニター、位置情報システム、健康管理システム
E-27	朝日航洋	地理空間情報にかかわる技術
E-24	アジア航測	航空レーザー計測、CIM・BIM、防災、その他
E-05	イチBizアワード	地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード 2024」取り組み紹介
E-44	XGRIDS LIMITED ※アクティブリテック/kudan/神戸清光	ハンディ型の3次元レーザー計測器とポストプロセッシングソフトウエア
E-18	ESRIジャパン	あらゆる業務で地図を最大限に活用し、 迅速かつ合理的な意思決定を実現する GIS プラットフォーム「ArcGIS」
E-17	ＮＴＴテクノクロス	SIerとしてシステム開発実績から得た知見を元に、 GISを活用したサービス・システム開発事例を紹介
E-34	オービタルネット	１．衛星画像・空中写真画像AI解析ソリューション ２．QGIS業務支援ソリューション ３．建設DX
E-07	経済産業省	空間情報プロジェクト、スマートビルプロジェクトの活動状況、成果中心にご紹介いたします。
E-22	国際航業	G空間社会を支える技術として、デジタルツインや3次元地形モデル等、最新の地理空間情報技術をご紹介。
E-11	国土交通省（建築・都市のDX、国土数値情報）	建築・都市のDXなどの施策内容に関するパネル展示等
E-08	国土交通省国土技術政策総合研究所	流域デジタルツインの実験場（流域治水デジタルテストベッド）に関する展示（パネルやモニター（動画））
E-06	国土交通省国土地理院	標高成果改定やGNSS標高測量、電子国土基本図の3次元化、国土地理院が行った災害対応やその他最近の取組等
E-10	国土交通省(歩行空間における移動支援サービス)	歩行空間における移動支援サービスの施策内容として、これまでの経緯から最新の取組状況までを紹介する。
E-12	産業技術総合研究所	産総研が進めている 人やモビリティ、ロボットの『移動』に着目したG空間に関する研究開発事例の紹介
E-20	G空間情報センター ※社会基盤情報流通推進協議会	G空間情報センターは地理空間情報の有効活用と流通促進を行うためのデータ流通支援プラットフォームです。
E-30	ジェノバ	高精度GNSS補正情報配信サービス
E-32	ジオサーフ ※ComNav Technology	GNSS受信機、RTK受信機、モバイルGIS、レーザースキャンニングシステム、固定翼ドローン
E-25	ジオテクノロジーズ ※Geolonia	ジオテクノロジーズは地図と人流データを展示、Geoloniaはスマートシティ事例について展示します。
E-29	GEOTRA	GEOTRAはスマートフォンのGPSデータと機械学習技術をかけあわせ生活者ひとりひとりの動きを分析できるデータを提供します。まちづくり、交通、防災、観光など多岐にわたる公共プロジェクトを推進します。
E-38	Cesium ※Pacific Spatial Solutions	Cesium for Unreal や様々なプラグイン、PLATEAUデータなど様々なグローバル３Dデータ持ちながら多様な業種での３D地理空間データの利用例を、デモやプレゼン、VR等の体験コーナーで実施。
E-19	総務省統計局	政府統計の総合窓口（e-Stat）や地図で見る統計（jSTAT MAP）の操作方法や活用事例等を分かりやすく紹介します。
E-33	ダイナミックマッププラットフォーム	自動運転用途に開発した高精度3次元地図データの展示と本データの多用途での活用の紹介
E-43	トーラス	地図からピンを立 てて、最短3０秒で謄本を取得できるシステムの「不動産チェッカー」というツールの紹介
E-36	内閣府宇宙開発戦略推進事務局、準天頂衛星システムサービス	日本版GPS「準天頂衛星システムみちびき」の概要、および、対応する製品やサービスの紹介
E-26	中日本航空	三次元点群測量のすべて(航空レーザ測量・測深、UAVレーザ測量、簡易MMS、NMB、SLAM、等)
E-04	日本測量機器工業会	一般社団法人 日本測量機器工業会 のご紹介
E-01	日本測量協会	日本測量協会の業務・活動紹介、日本測量協会刊行図書や地理空間情報関連の図書の展示
E-16	日本地図センター	大型タッチディスプレイで動作する時層地図の展示と、地図関連商品の物販。
E-09	農林水産省	衛星測位技術を活用したトラクターの自動走行など、スマート農業実証事業の成果を中心に展示予定。
E-23	パスコ	①スマートシティ・3次元関連 ②衛星関連などを予定しています
E-28	福井コンピュータ	測量・設計・施工用の各種ソフトウェア製品（測量CAD、3DCAD、3D点群、BIM/CIM、VR/AR、計測アプリ、統合クラウド）
E-35	マップフォー	MMSである3次元データ計測システムSEAMS、3次元点群地図作成ソフトウェアMAP IV Engine、導入事例
E-21	マップル	地図をベースに、さまざまな情報やIT技術を組み合わせた表現方法やソリューションを展示
E-39	マプリィ	地理空間情報のアプリプラットフォームmapry。安価で簡単に使えるハンディLiDARやGNSS、MMS、GIS等を展示します。
E-42	MIERUNE	WebGISやデスクトップGISを用いたアプリケーションのデモ、ソリューションの展示。
E-31	Muometric Complementary Positoning, Navigation, and Timing ※駐日ハンガリー大使館	相対論的量子ナビゲーション、muPS(ミューピーエス)をテーマにします。この技術によれば、透過型時空間測位によって、地下トンネルあるいはビルの中、海底などのGPS信号が届かない場所のナビゲーションが可能となります。このような最先端科学技術を展示します。
E-37	MetCom ※ブログウォッチャー/ホロラボ	屋内も屋外も。高さもわかる3次元シームレス測位。リアルタイム測位・3次元人流分析サービスもご提供
E-03	リーグルジャパン	地上型レーザースキャナー、UAVレーザースキャナー
E-41	リプロ	測量用境界杭製品（複数）の他に、防災関連の機器（複数）と地図上での管理アプリケーションをモニター展示する予定
E-02	レフィクシア	高精度GPS端末LRTKと測位DXシステムを提供しています。

出展者セミナー

G空間EXPOセミナー会場 （南4ホール内）					
1/29（水）	2-A	10:30-11:10	G 空間	GEOTRA	GEOTRA 人流データと地理空間情報を用いたまちづくりシミュレーション
	2-B	11:30-12:10	G 空間	MetCom・ブログウォッチャー・ホロラボ	人流は、高さもわかる「三次元」へ。先進事例とその裏側をご紹介
	2-C	12:30-14:10	G 空間	内閣府宇宙開発戦略推進事務局、準天頂衛星システムサービス	みちびき特別講演会 ～ 6号機打上げ直前！衛星測位最前線in G空間EXPO2025 ～
	2-E	14:30-15:10	G 空間	国土交通省 国土技術政策総合研究所	流域治水デジタルテストベッドの整備状況と将来展望
	2-F	15:30-16:10	G 空間	ジオサーフ	VENUS AND MARS! – 革新的なレーザー RTK
1/30（木）	2-G	10:30-11:10	G 空間	Cesium	CesiumとPSSが紹介する 3D地理空間データでデジタルツインを構築・可視化する手法事例
	2-H	11:30-12:10	G 空間	オービタルネット	画像生成AIを用いた衛星画像Hack!
	2 - I	12:30-13:10	G 空間	マップフォー	自動運転の空間認識技術を活用した新たな問題解決ソリューション
	2 - J	13:30-15:10	G 空間	国土交通省 国土地理院	新たな標高基準と3次元地図への期待
	2 - L	15:30-16:10	G 空間	ジオテクノロジーズ	内閣府のスマートシティの取り組みと地理空間データ連携基盤
1/31（金）	2-M	10:30-12:10	G 空間	東京大学国際ミュオグラフィ連携研究機構・駐日ハンガリー大使館	Muometric Complementary Positioning, Navigation, and Timing
	2-O	12:30-17:00	G 空間	Geo アクティビティコンテスト	Geo アクティビティコンテスト

出展者セミナーの様子

プレス来場一覧

※法人格略

社名	媒体名・番組名
JAFメディアワークス	JAF Mate
K-Tプランニング	none
LuckyFM茨城放送	LuckyFMニュース
NEXTMOBILITY／J2 COMPLEX	NEXTMOBILITY
TKC出版	戦略経営者
TOKYOMX	堀潤ライブジャンクション
webメディアサスタビ	webメディアサスタビ
あお	テレビ東京「メルクリウスの扉」# 24三菱地所
アグリライフ	農業系媒体各種
グリーンプロダクション	バイオプラジャーナル
グリーン情報	グリーン情報
ケイズオフィス	カワサキ・バイク・マガジン
コスモ女子	コスモ女子YouTube
サッシタイムス社	サッシタイムス
サン・ネット	『パーキングプレス』
シード・プランニング	健康シリーズ
ジャッグ ジャパン	Yahoo!ニュース エキスパート
ジャパンフォワード推進機構	Japan Forward
セレマーケット	第一財経Magazine
ソルフレア	デジコン
ダイセン	繊維ニュース
タス通信東京支局	タス通信
デジタルブラストコンサルティング	SPACE Media
テレビ愛知	情報ステーション はちまるご
テレビ朝日	テレビ朝日　グッド！モーニング
テレビ東京	WBS(ワールドビジネスサテライト)
ニッポン放送	ニッポン放送NEWSONLINE
ネクストパブリッシング	GIS NEXT
ピーオーピー	見本市展示会通信　/　EventBiz
ファスニングジャーナル	ファスニングジャーナル
フジテレビ	Live News α
フリーランス	みちびき公式サイト
フリーランス	マイナビニュース TECH+
フリーランス	まいどなニュース
フリーランスライター	建設系WEBメディア「施工の神様」
マイナビ	マイナビニュース TECH+(テックプラス)
ライジング出版	Mobility Life
ロイター通信	Reuters
ロシア連邦　イタル－タス通信社	タス通信
宇宙経済新聞	宇宙経済新聞
音元出版	PHILE WEB
化学工業日報社	化学工業日報
橋梁新聞社	橋梁新聞
橋梁通信社	橋梁通信
金物総研（金物総合研究所）	金物情報ニュース
月刊ガソリンスタンド社	月刊ガソリンスタンド
建通新聞社	建通新聞東京
国際農業社	農村ニュース

社名	媒体名・番組名
産業新聞社	産業新聞
週刊住宅タイムズ	週刊住宅
十勝毎日新聞社	十勝毎日新聞
神戸新聞社	まいどなニュース
世界日報社	世界日報社
宣伝会議	環境ビジネス
爽風企画新社	「輝け！ ぼくらの星」
朝日インタラクティブ	月刊FDI紙
朝日新聞社	朝日新聞
展示会ドットコム	展示会ドットコム
電波タイムス社	電波タイムズ
電波新聞社	電波新聞/電波新聞デジタル
都政新聞	NEWS TOKYO
東京カートグラフィック	日本測量協会
東京都自動車整備振興会	整備 in Tokyo
東京都政策企画局	知事公務記録
日刊建設工業新聞社	日刊建設工業新聞
日刊建設通信新聞社	建設通信新聞
日刊工業コミュニケーションズ	月刊「新製品情報」
日刊紙業通信社	日刊紙業通信
日刊自動車新聞社	日刊自動車新聞
日刊板紙段ボール新聞社	板紙・段ボール新聞
日経BP	日経Automotive
日経BP	日経クロステック
日経BP	新・公民連携最前線
日経BP	日経アーキテクチュア
日経BP	新・公民連携最前線
日経BP	メガソーラービジネス
日報ビジネス	月刊食品包装
日本ビル新聞社	日本ビル新聞
日本屋根経済新聞	日本屋根経済新聞
日本金融通信社	ニッキン
日本経済新聞社	日本経済新聞
日本工業出版	月刊プラスチックス
日本工業出版	「建築設備と配管工事」
日本食糧新聞	日本食糧新聞
日本水道新聞社	日本下水道新聞
日本設備工業新聞社	日本設備工業新聞
日用品化粧品新聞社	日用品化粧品新聞
燃料油脂新聞社	日刊燃料油脂新聞
福井新聞社	福井新聞
物流ニッポン新聞社	物流ニッポン
文化放送	ニュースパレード・防災アワー
油業報知新聞社	油業報知新聞HELLO

主な広報宣伝活動／制作物

項目		数量	内容	実施期間
ポスター			出展者ほか、協賛、後援団体に配布	2024年9月～
日刊工業新聞	社告・広告		全面、全5段、半5段	2024年1月～
	紙上プレビュー		各出展企業の紹介	2025年1月～
その他のパブリシティ	Web		４展合同Webサイト	2024年11月～
	SNS		公式SNSでの情報発信(Xなど)	2024年11月～
	動画サイト		YouTube広告	2025年1月～
	バナー		Yahoo!JAPAN広告	2024年12月～
			Google広告	2024年12月～
プレスリリース			新聞社、雑誌社、その他各種媒体へ案内	2024年12月～
招待状	出展者用	約20万部	出展者に無料配布(封筒とセット)	2024年12月～
	主催者用		主催者送付 ・後援、協賛団体 ・日刊工業新聞社主催の展示会、セミナー来場者 ・都道府県会館 ・日刊工業新聞社発行「新製品情報」購読者 ・日刊工業新聞社、支社、支局　など	2024年12月～
Webサイト			・各展示会公式Webサイトにて 出展募集、来場募集を掲載 ・各主催団体のWebサイトにて情報発信	2024年7月～
メール配信		約360万件(計13回)	日刊工業新聞社主催の展示会来場者、セミナー聴講者へ発信	2024年11月～
日本測量協会メールマガジン配信		約1.2万件(計4回)	日本測量協会会員向け開催案内	2024年12月～
月刊『測量』		約1.4万部(計5回)	開催案内	2024年9月～

公式Webサイト

国土交通省における報道発表

政策統括官及び国土地理院の連名により報道発表を行った。
配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省運輸記者会及びつくば研究学園都市記者会
発表日時：令和6年11月26日(水)14時

報道発表資料

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1．国土交通記者会
2．国土交通省建設専門紙記者会
3．国土交通省交通運輸記者会
4．筑波研究学園都市記者会
令和６年 11 月 26 日　１４時同時配付

令和６年１１月２６日
政策統括官
国土地理院

「G空間EXPO2025」を１月２９日～３１日に開催します！
～今年度のテーマは「G 空間が織りなす豊かな社会へ」～

産学官民の連携により、地理空間情報の活用の有効性や最新技術の動向に係る講演、展示、シンポジウムを行うことで最新の地理空間情報技術の活用推進及び普及啓発を図るイベント、「G 空間 EXPO2025」を開催します。なお、地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチ Biz アワード」の発表・表彰も行います。

地理空間情報（G空間情報）とは、「位置」と「時間」、その関連情報から形成される情報です。G空間情報を活用することで新しいサービスや産業の創出に加え、自然災害や環境問題への対応、産業・経済の活性化、豊かな暮らしの実現といった様々な社会課題の解決を目指します。その実現に向けてG空間情報技術の普及・啓発を図るため、2010年度からG空間EXPOを開催しており、今年度で14回目を迎えます。

○開催日程等 ※同時開催：国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展
日時：令和7年1月29日(水)～31日(金)　10:00～17:00
※令和7年1月22日（水）～2月7日（金）　公式サイトにおいてオンライン開催
会場：東京ビッグサイト 南４ホール、南２ホール、会議棟
主催：G空間EXPO運営協議会、共催：日刊工業新聞社

（主なイベント）
・講演 NHK「ブラタモリ」番組プロデューサー 吉田 光志 氏
日時：令和7年1月30日（木）10:30～11:10
会場：南２ホール メインステージ
講演名：旅が10倍楽しくなる！"地図ブラ"の魅力～NHK「ブラタモリ」番組づくりの現場から～
・地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード2024」の表彰式
（内閣官房地理空間情報活用推進室主催）
開催内容についての詳細は、イチBizアワード公式サイトをご覧ください。
https://www.g-idea.go.jp/2024/（二次元バーコードからもアクセス可）
【イチ Biz アワード公式サイト】

○公式サイト：開催内容についての詳細は、G空間EXPO公式サイト等をご覧ください。
G空間EXPO公式サイト https://www.g-expo.jp/（二次元バーコードからもアクセス可）
日刊工業新聞社4展合同サイト https://springfair.nikkan.co.jp/
【EXPO 公式サイト】

○入場登録（入場無料：登録制）　※入場される方は、下記URLより入場登録をお願いいたします。
【G空間EXPO2025 入場登録】（日刊工業新聞社4展合同サイト）
https://springfair.nikkan.co.jp/（二次元バーコードからもアクセス可）
【入場登録サイト】

○取材方法※取材を希望される方は、下記URLより申込みをお願いいたします。
【取材申込みフォーム】（日刊工業新聞社4展合同サイト）https://biz.nikkan.co.jp/form/eve/spring/press/

○添付資料 ＋ービジュアル（ポスター）、主なイベントの概要、2024年度「イチBizアワード」の概要

政策統括官付地理空間情報課
飯竹・照井（内線：29833、29844）
03-5253-8111（代表）、03-5253-8353(直通)

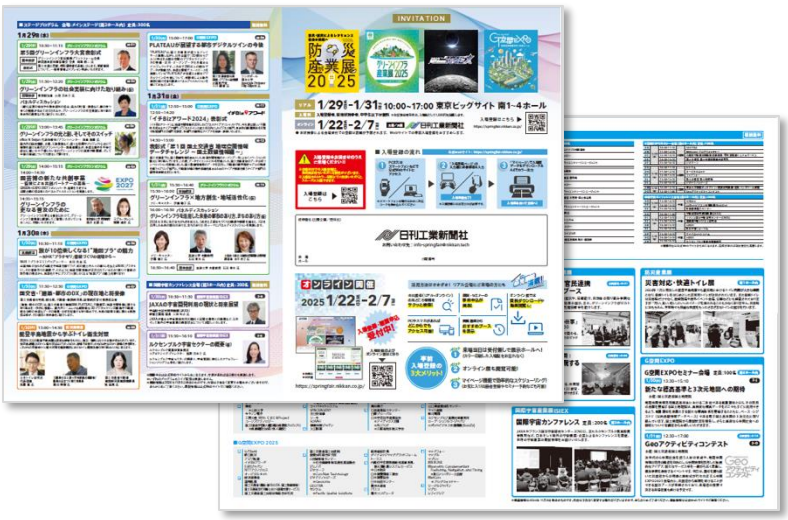
国土地理院防災・地理空間情報企画センター
地理空間情報企画課 小島・飯田
03-5253-8139（直通）

制作物

新聞・雑誌広告

各展全5・半5段広告を掲載

招待状(日/英)



ポスター

Web広告(バナー)

制作物

Web広告(リスティング)

【Google】【Yahoo！】

掲載記事(一部抜粋)　※無断転載禁止

【G空間EXPO】

防災にデータ活用提案

航空測量で自治体支援

日刊工業新聞 2025.1.30

人流データ 1日10億件超収集

日刊工業新聞 2025.1.14

がれき下のロボ操作を体験

日刊工業新聞 2025.1.15

「未来」「見せる」「測る」を紹介

日刊工業新聞 2025.1.16

地球上の変位 精緻に観測・解析

立体模型に地理空間情報投影

日刊工業新聞 2025.1.17

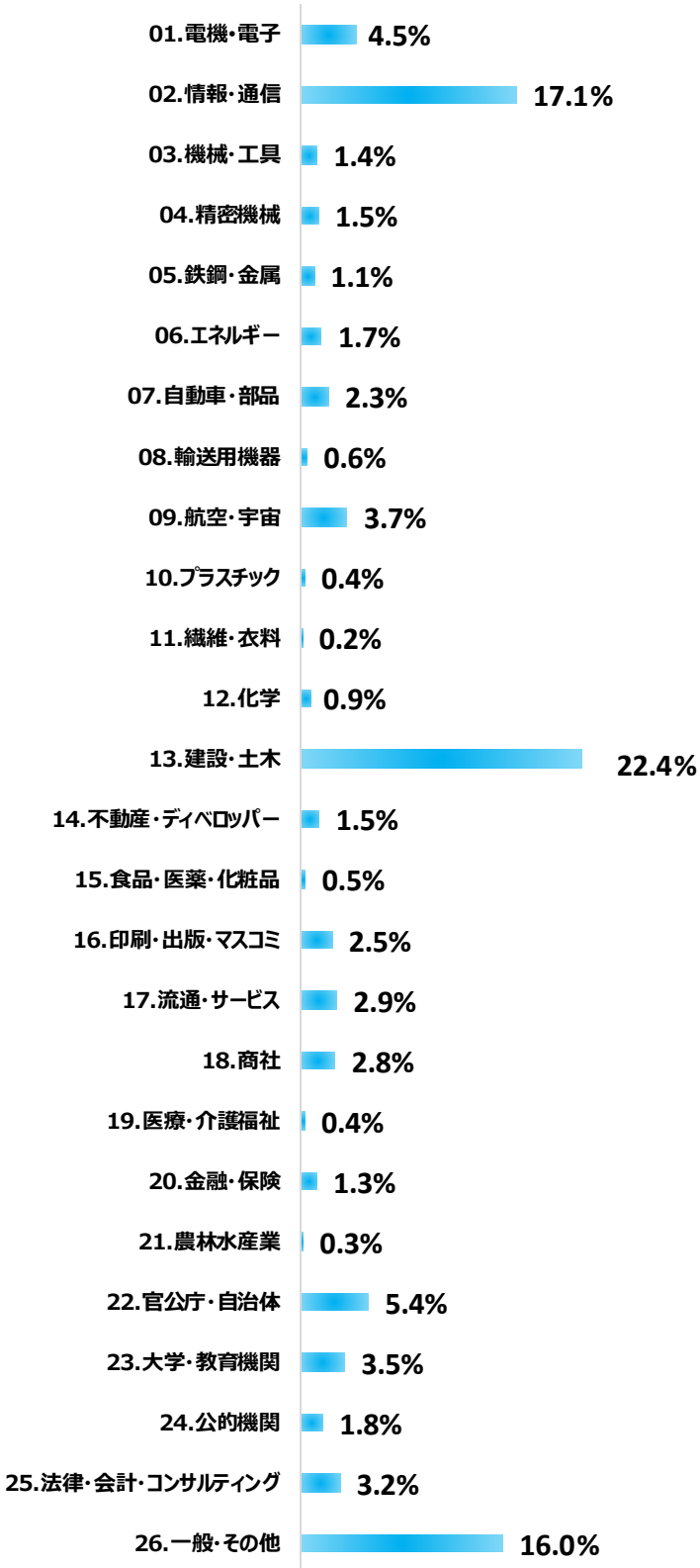
G空間EXPOは紙上プレビュー(9)まで実施

来場者アンケート集計結果

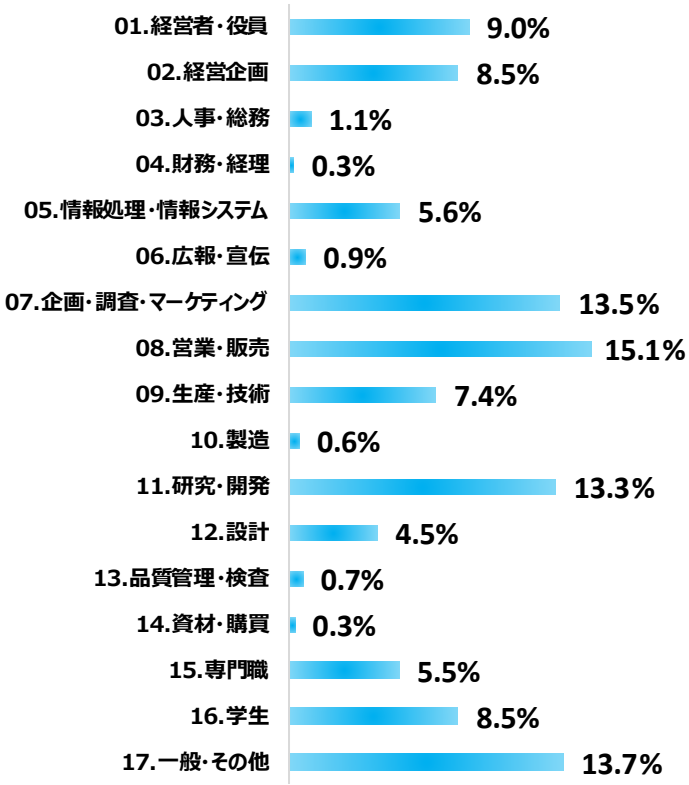
来場者アンケート

端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。

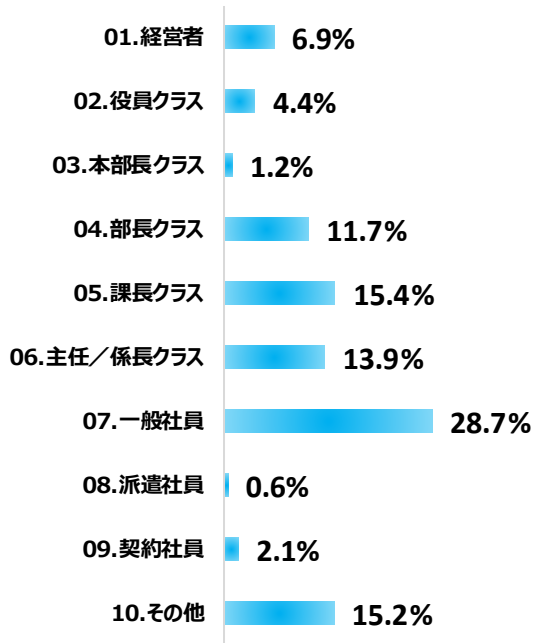
業種の傾向



職種の傾向

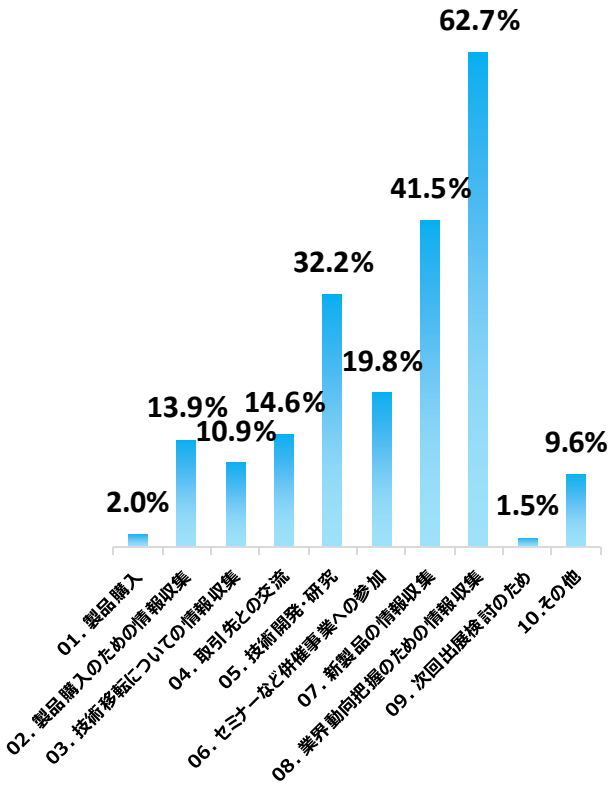


役職の傾向

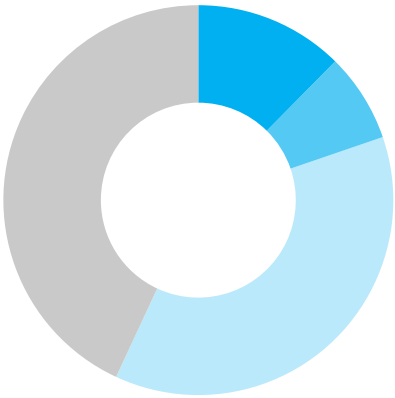


端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。

Q 来場目的（複数回答）

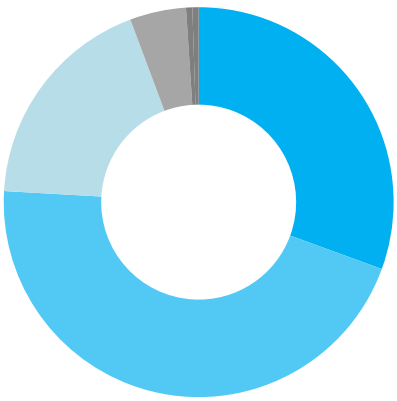


Q 製品・サービスの導入に関する関与度



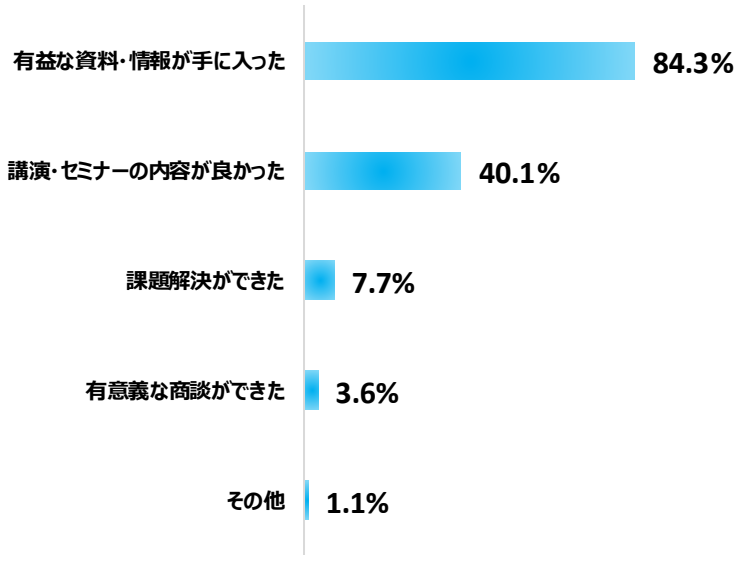
- 決定権を持っている 12.4%
- 内定を下している 7.4%
- 具体的な製品/サービスを推薦している 37.2%
- 関与していない 43.1%

Q ご来場の目的は達せられましたか？

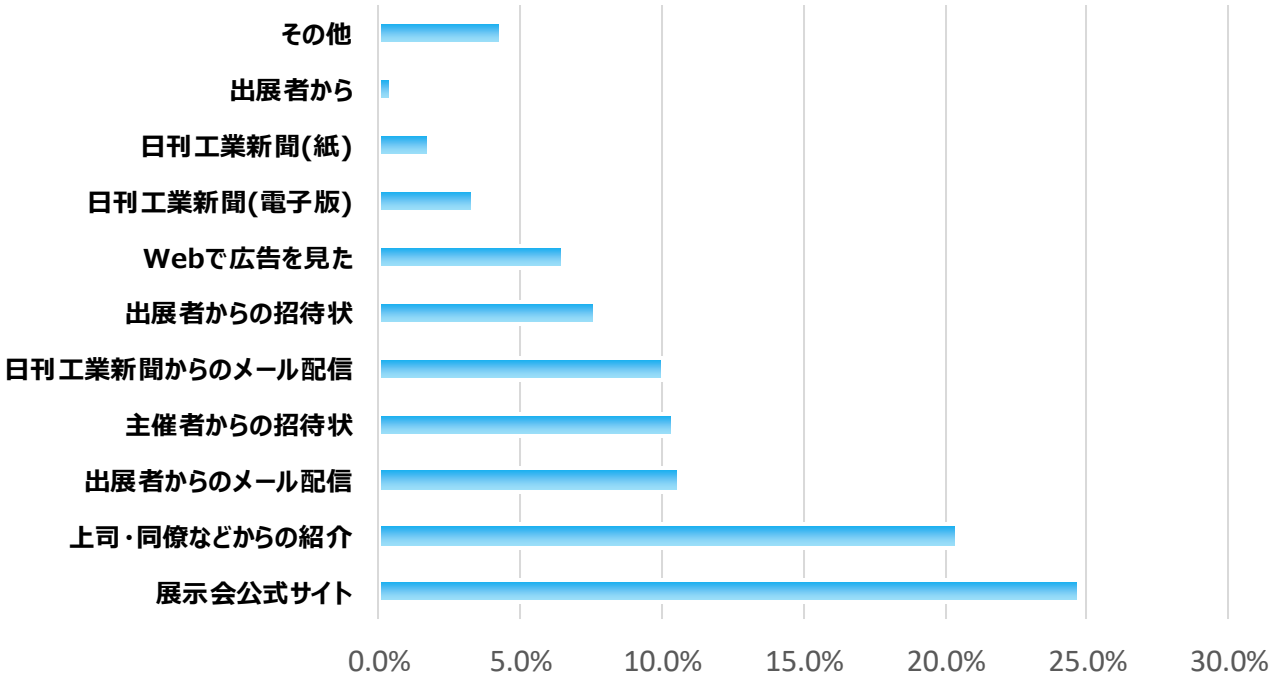


- 十分達成された 30.6%
- ほぼ達成された 45.3%
- やや達成された 18.4%
- あまり達成されなかった 4.7%
- ほぼ達成されなかった 0.5%
- 達成されなかった0.5%

「十分達成された」、「ほぼ達成された」、「やや達成された」とお応えの方は、その理由をご回答ください。（複数回答）



Q G空間EXPOを何で知りましたか？



■その他

・LINEで広告を見た
・講演者より
・知人・友人から
・昨年の送られてきたチラシ
・国土交通省メールマガジン
・展示会検索サイト
・セミナーにより
・ハンガリー友好協会関係者
・展示会場のイベント情報をみて
・月刊測量
・SNS
・イチBizアワードへの参加
・東京ビッグサイトの広告より
・G空間EXPOのＨＰ
・日本測量協会機関誌
・Geoアクティビティコンテストの出展者
・毎年参加しているため
・CPD認定プログラム検索より
・2年前から来場したことがあったため
・国土交通省HP

意見・感想

1	今回の展示会は、参加証明書をもらえるか、わからなかった。
2	時期を春、秋等で開催して欲しい
3	セミナーがやってない時間帯は無駄なスペースになるので、出展者発表や、名刺交換会とか飲食スペースになればいい
4	研究内容の展示もあり、これからの未来像も想像できるのでよかった。
5	スペースも場所もとても良かったです。
6	国交省の建築・都市DXの講演は大変興味深い内容を4名の方々が分かり易く説明してくださりとても充実していました。
7	チラシや会場案内図から南展示棟会議室Bの場所が把握できなかった。
8	研究者や事業の当事者の方のお話が伺えて参考になった
9	有意義な時間をありがとうございました。
10	様々なアイデアを発表できる場があるのは素晴らしい！
11	落ち着いた雰囲気で各ブース良く見ることが出来た
12	飲み物を配ってほしい。
13	今後も出展国、機関の誘致を積極的に行ってほしい。
14	会場が遠い
15	今回は南棟でしたが、予算の都合ですか？
16	入場券を発行するサイトで登録時では適当なパスワードで登録できるのに、入場券を表示するサイトに登録時パスワードを入力すると、パスワードの入力規則に従わないという趣旨のエラーが出てログインさえできない
17	コンパクトで見やすかった。
18	日刊工業さんの会員登録をしなければいけない点がややハードルでした。去年まではなかったので、なぜ登録しないといけないのだろうと思いました。会員登録がある点で諦めてしまった同僚もいました。このアンケートについてですが、〇〇とお答えいただいた方へ、の質問が必須になっていて、〇〇と答えていない人も答えないといけないようになっています。formsがそういう仕様なのか分からないですがせめてGoogle Formのように質問が分岐するといいと思います。
19	情報収集、勉強になる展示が多かった。 競合含め、他社の活動が理解できた。 JAXA, 産総研など、非営利の展示があったのも良かった。
20	セミナー資料のダウンロードを希望します。 また、後日でもよいのでセミナーをオンライン配信して欲しいです。
21	一つのホールに違うテーマの展示会が入っており、気軽に目的でない展示も見れて、予想してない新しい発見に繋がったので、非常に良かった
22	ID等は電子で認証できるようにされたい。
23	オンラインでの出展企業の検索をもっと分かりやすくして欲しい。
24	東館のENEXと出展内容が被っている部分があり、時期はずらした方が良かったのではないかと思った。 また場内撮影禁止と表示していたが、意味があったのでしょうか。
25	展示規模拡大、展示ブースの増加

26	講演・セミナー間の時間をもう少し取ってほしい。 連続して聴講した際の間の時間があまりなく、休憩等がとりにくかった。
27	講演、セミナーはオンライン配信してください。
28	相互に関係の深い4分野の展示が同時に開催されていたので、それぞれの来場者が他の展示にも回遊しており、非常に有意義でした。
29	国交省の方々の講演が素晴らしかったです。
30	これからも注目の展示会を開催下さい。
31	会場内でロボットを走行させていましたが、結構邪魔でした。また、暴走した場にも居合わせており、暴走時の対応方法（機体を手でつかむのではなく、バッテリーを外すなど）や、事故後の対応（周囲への謝罪、直ぐにバッテリーを外して手動操作に切り替える、機材を人込みから遠ざけるなど）が全く考えられておりませんでした。主催側でも確認・徹底した方が良いかと思います。怪我人等は居ない様子でしたが、大変危険でしたので、ご一考のほどよろしくお願いいたします。※ブース内でロボット操作を見せていた所もあるので、それで良いのでは？
32	考えさせられる事例や情報に触れる機会の多い自分には、まだ一般的な知識や認識のレベルについてのギャップが逆に気づきとなり、示唆となった。内水氾濫や洪水などに関しては、国や自治体が動くだけで、コストもこれまでの延長でのアップ位で有効な機能を発揮する製品がたくさんある気がした。
33	以上のとおり可能な項目を記入しました。 来年の開催を楽しみにしています。
34	セミナーでのスタッフの対応・動作が、以前と比べて大変改善されていて、気持ち良かったです。
35	受講した講演、セミナーの提示された資料が欲しい。
36	ブースがテーマ別になればより見やすいのでは？
37	会場内で配布されるブース地図が「A3サイズの日本語版」と「A4サイズの英語版」の2種類だったが「A4サイズの日本語版」の地図が欲しい
38	非常に参考になりました。
39	展示規模が大きくて参考になりました。 部長以上は年寄りなのでVIPラウンジがあると休憩できてよかったかなと思います。
40	社内で説明するためのセミナー資料が欲しかった
41	先端宇宙技術動向ついてのボリュームを増やして欲しい
42	守秘義務等もあるかと思いますが、会場内の撮影をある程度は許可を出してほしかったです。 来場された方々が発信することでより輪が広がると思います。 講演内容はいずれも閉鎖的な雰囲気を感じなかったのでそこが残念でした。
43	良い収穫がありました。 次回もありましたら是非とも参加したいです。 ありがとうございました。
44	合同開催は、大変良いと思いました。JAXAとG空間が同じような分野が多いので非常に良かったです。
45	効率よく、4つの展示会を見ることができました。どの展示会も、その業界をリードする出展者が多く、新たな技術導入のうえで、とても参考になるものでした。ありがとうございました。

46	関連する展示会を合同で開催されたことは有益でした。今後もこのような開催を望みます。
47	合同開催で、従来見学しなかったブースや情報を得ることができて有益でした。
48	Web会議をできるスペースを作ってほしいです。
49	とても有意義な時間を過ごせました。 ありがとうございました。
50	土日を含んだ開催をしてほしい。
51	海上近くに行かないと、何の会場かわかりづらい。 視認性を良くしてほしい。
52	グーグルマップ的なアプリで、興味のある個所にすぐ行けるようになればと思います。
53	G空間EXPOについて、会場が前回より広くなり余裕をもって回れるようになったのは良かったが、辿り着くまでが遠くなったのが残念だった。
54	高校生もブースが使えることを初めて知りました。
55	展示について、多彩な展示がよかった。 このアンケートについて、商談していないのに「商談した方は…」の問いが必須なのはどうにかしてほしい。
56	複数の展示会を同時に見られたことは良かった。
57	展示の規模が各社のブースを見て回るのに適度な規模でした。
58	一度に色んな分野の展示を見ることができる。
59	4展合同とすることで賑やかでよかった。
60	何を展示しているのか分かりにくい出展があった。
61	GISと宇宙産業、また防災やグリーンインフラと、関連した展示会が同時開催で、短時間で効率よく情報収集ができ、ありがたかった。
62	外国企業、政府機関なので出展に来場者がアクセスしやすくする工夫が必要ではないか。
63	出来たら2フロアではなく、1フロアで開催してほしい
64	4つの展示会、同一フロア（ホールは分かれてもOK）で開催して頂くと見やすかったかもしれません。
65	入館証登録が大変
66	テレワークラウンジを用意してほしかった
67	私の都合で時間が限られており、詳細に見ることはできなかったのですが国際宇宙産業展とG空間EXPOは、新技術が多く出ており、新規事業開発に取り組む身としてはとても興味深い展示会でした。
68	講演内容も出展も良かったです
69	次年度も合同開催を希望する
70	休憩場所が少なかった
71	同時開催の展示会を回ったところ、新たな気付きにつながる情報を見聞きすることができた。想定外の有益な情報入手となり、4展同時開催が有意義だと感じた。

72	当日会場受付前にてWEB登録をしましたが、プロセスが煩雑だと感じました。
73	出展社の規模拡大希望
74	開催時期をもうすこし早く(せめて年内)にしていただきたいです(年度末は繁忙期のため)
75	当日の入場手続きを簡単にして欲しい
76	ありがとうございました
77	今年度のような規模で実施してほしい
78	例年の会場（汐留）に比べて遠いうえ，駅から遠すぎる，食事処に欠く，悪いことづくめであった.
79	複数の展示会を合同での実施だったため一度に回れた効率が良かった。
80	出展に関する詳細情報を（時期が来たら）送っていただきたい。
81	セミナーの講演資料をファイルで頂ける仕組みを設けてほしい セミナー講師との名刺交換がスムーズに行える仕組みを設けてほしい
82	関連がありながらも方向性が異なる4分野の組み合わせが良かった 中で軽食が取れて便利でした 投稿ではなく、記録のための撮影は出展者の許可得て実施したが、会社に持ち帰っての情報共有で必要だと思います 何を写して良くて何がだめなのかを色分けしていただけるとありがたい
83	座って一息付けたり、メールなどちょっとした作業ができる、電源つきテーブルのあるスペースがあると嬉しい 会場の外に出て、そういったスペースを探したり、行って戻ってくる手間が惜しい
84	（日本で開催される展示会に共通することですが）外国からの出展ブースには、広さの割に閑散としている展示が多いです。ご講演もあったチェコのブースは、かなりスペースをもてあましており、それが会場中央寄りにあったので、目立ちました。場所取りと、空間を埋めるような工夫を主催者様のほうで、考えていただければと思います。

［参考］開催実績等

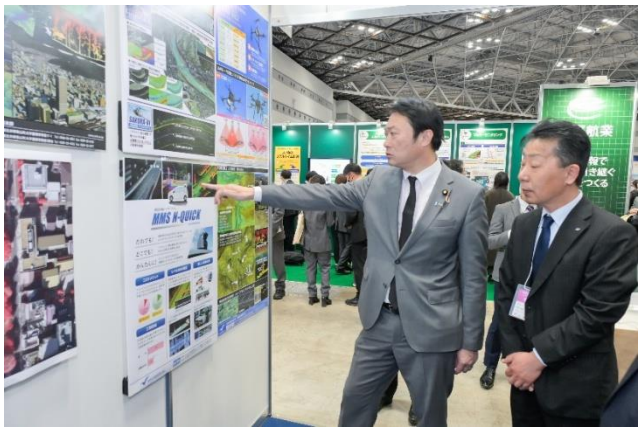
G空間EXPO開催実績

	名　称	会　期	会　場	来場数等
1	G空間EXPO	2010(H22)　9/19日～21火	パシフィコ横浜 [使用面積10,000㎡]	36,819人
2	G空間EXPO2012	2012(H24)　6/21木～23土	パシフィコ横浜 [6,700㎡]	18,143人
3	G空間EXPO2013	2013(H25) 11/14木～16土	日本科学未来館(東京都江東区) [使用面積約2,000㎡] ※1	17,584人
4	G空間EXPO2014	2014(H26) 11/13木～15土	日本科学未来館	20,311人
5	G空間EXPO2015	2015(H27) 11/26木～28土	日本科学未来館	18,856人
6	G空間EXPO2016	2016(H28) 11/24木～26土	日本科学未来館	19,138人
	G空間EXPO2016in仙台	〃　10/5水	仙台国際センター(仙台市青葉区)	128人
	G空間EXP0 2016in大阪	〃　10/24月～25火	ATCホール(大阪市住之江区)	150人
7	G空間EXPO2017	2017(H29) 10/12木～14土	日本科学未来館	20,450人
	北陸G空間フォーラムin新潟	〃　9/20水	朱鷺メッセ(新潟市中央区)	94人
	九州G空間フォーラムin鹿児島	〃　11/8水～9木	かごしま県民交流センター(鹿児島市)	205人
8	G空間EXPO2018	2018(H30) 11/15木～17土	日本科学未来館	10,623人 ※2
	北海道G空間フォーラムin札幌	〃　7/18水～22土	かでる２・７ほか(札幌市)	836人
	中国G空間フォーラムin広島	〃　9/13木～14金	JMSアステールプラザ(広島市)	350人
9	G空間EXPO2019	2019(R元) 11/28木～30土	日本科学未来館	15,513人
	中部地理空間フォーラムin岐阜	〃　10/11金 ※3	ぎふメディアコスモスほか(岐阜市)	143人
	四国地理空間フォーラムin松山	〃　11/8金～9土	松山市総合コミュニティセンター(松山市)	175人
10	G空間EXPO2020	オンライン開催 ※4 2020(R2)11/24火～12/27日	―	(アクセス数) 58,306
11	G空間EXPO2021	実地開催 2021(R3) 12/7火～8水	東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区) [使用面積約1,534㎡]	(来場数) 1,022人
		オンライン開催 2021(R3) 12/1水～26日	―	(アクセス数) 51,330
12	G空間EXPO2022	実地開催 2022(R4) 12/6火～7水	東京都立産業貿易センター浜松町館	(来場数) 1,424人
		オンライン開催 2022(R4) 12/1木～25日	―	(アクセス数) 45,493
13	G空間EXPO2023	実地開催 2023(R5) 11/7火～8水	東京都立産業貿易センター浜松町館	(来場数) 1,701人
		オンライン 2023(R5) 11/1水～12/10日	―	(来場数) 37,398人
14	G空間EXPO2025※5	実地開催 2025(R7) 1/29水～31金	東京ビッグサイト南ホール	(来場数) 26,338人
		オンライン 2025(R7) 1/22水～2/7金	―	(来場数) 47,997人

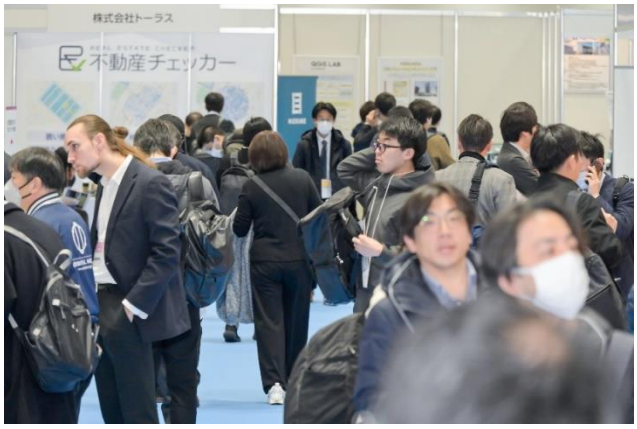
※1 日本科学未来館における使用面積はこの翌年以降も同じ。
※2 来場者数カウント方法をこの年から精緻化した。
※3 台風接近のため、予定されていた第２日(10/12 土)の開催を中止した。
※4 感染症拡大防止の観点から実地開催を中止しオンラインにより実施。翌年度(2021)は実地，オンラインの併用で開催した。
※5 国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展と同時開催。

G空間EXPO2025の様子

新藤義孝衆議院議員視察



吉井章国土交通大臣政務官視察



会場内の様子

ブースの様子

ブースの様子

ブースの様子

総務省統計局　センサスくんとみらいちゃん

日本測量協会　マッピーくん

G空間EXPO2025開催報告書

令和７年４月

G空間EXPO運営協議会事務局

日刊工業新聞社

総合事業本部　イベント事業部

Geo spatial
空間EXPO
2025
地理空間情報科学で未来をつくる